

令和元年度第1回総合教育会議

ふるさと育成協議会について

令和元年7月10日

総合政策部総合政策課 教育委員会学校教育課

1 概要

(1) 設立目的

- 経済的理由や家庭環境などの理由で進学できないでいる子ども達の支援

(2) 会員企業（参加企業）

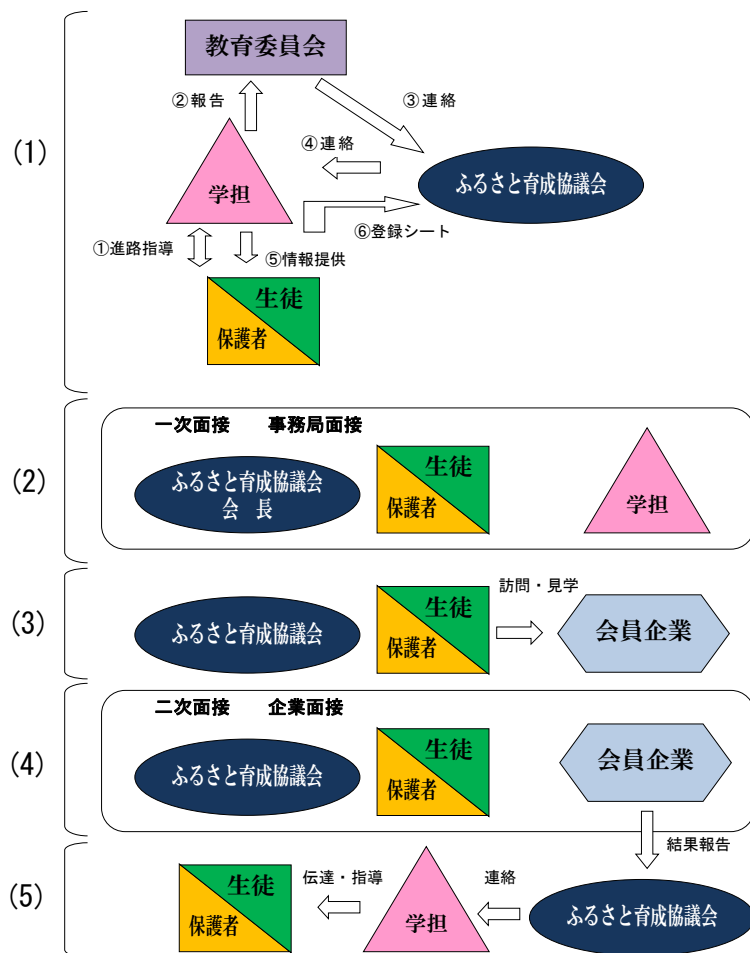
- 地元企業 20社
※うち19社が就職受入

(3) 具体的な取組内容

- 定時制・通信制高校へ進学
 - ・ 学費は企業が負担する。
 - ・ 高卒資格を取得できる。
- 在学中は、地元企業で正社員として勤務
 - ・ 給与の一部は、将来のために財形貯蓄
 - ・ あいさつやマナーなど、社会人としても成長できる。



2 活用の仕組み



(1) 相談の受付

- 「進学に困っている」「仕事をしながらでも学びたい」という意欲のある子ども達からの相談を受付
- 相談元は、学校・保護者など様々

(2) 一次面接

- 協議会事務局で面接を実施

(3) 企業選択

- 会員企業を訪問・見学し、就職先候補を選択

(4) 二次面接

- 就職先候補の会員企業で面接を実施

(5) 支援の決定

- 会員企業への採用が決定

※1 定時制一般入試(2月)までに支援を決定します。

※2 進学先は、一覧を提示するのではなく、相談を進める中で決定します。

3 「学びながら働く」

ポイント あくまで進学支援がメインの取組

- ◎就職は、あくまで、学ぶための手段として位置づけており、**就職あっせんではない。**
- ◎定時制・通信制で**学び続けるために、**、、
 - ①**毎日の通学1時間前には勤務を終了**
 - ②**学習時間確保のために土日祝日の勤務は無し**
- ◎将来の免許取得などに必要となる経費は、**財形貯蓄**という形で指導
- ◎職場では、**あいさつやマナー・各種業務での専門スキル**はもとより、**先輩社員が学校に通い続けるためのコツをアドバイス**

4 これまでの取組と成果

(1) これまでの取組

- 平成28年度
平成29年1月 協議会発会
2月 校長会で意見交換
- 平成29年度
平成29年4月～各中学校へ説明周り
- 平成30年度
協議会にコーディネーターを配置し体制強化

(2) これまでの成果 (R1.7.5時点)

年度	相談 件数	進学 +就職	就職 のみ
28年度	3名	2名	0名
29年度	13名	1名	1名
30年度	17名	5名	0名
合計	33名	8名	1名

【進学先】

- 泉ヶ丘(定時制)・・・5名
- 宮崎東(通信制)・・・3名

【就職先】

- 子ども達の就職先一覧の公表はしていない。



地道に活動し、一定の成果が！

5 今後の課題

(1) 進学支援が目的であることの周知

- 協議会の取組は、就職あっせんではないということを、本人はもちろん、学校の先生や保護者に対して正しく伝える。

(2) 各学校現場との更なる連携

- 支援の対象となりえる子ども達を見落とさないため、校長・学級担任・進路指導の先生との連携を推進

(3) 行政機関（福祉）との更なる連携

- 相談を進める中で、子どもによっては、協議会ではなく福祉部門での対応を必要とするケースもあり、多面的支援のために、行政との連携強化

一人でも多くの子どもを救うために、更なる連携を推進

